

■（仮称）お茶と宇治のまち歴史公園と歴史的風致維持向上計画とのつながり

(様式 3-6)

提案概要書：提案内容のコンセプト、透視図

事業コンセプト

“宇治の新たな歴史を担うプラットフォームづくり”

歴史・文化観光の玄関口/ここだけのおもてなし/交流・賑わい/施設と地域連携/産業振興/地域経済活性化/都市ブランド醸成/都市格の向上

1 国史跡「宇治川太閤堤跡」の保存・活用

宇治の歴史・文化の積層を培ってきた、その中興の姿を象徴する遺跡の価値を最大化します

観光資源として/市民の誇り/太閤秀吉の革新事業/いにしへの躍動を共感/役割と意義/築城当時の最新設備を最先端のテクノロジーで/展示と情報メディア/興味を深めて広げる

2 宇治の歴史・文化・観光に関する情報発信

「ひと+ICT で興味をつなげ周遊・まち歩きを連鎖させるしくみ」の基盤を整備します

キーワードチャート  
多様な来訪者/個人・団体・外国人・学校利用.../個々に対応/展示と多様な体験で/関心と理解を増進/手帳とシステム/まち歩きを楽しむをカスタマイズ/街中で拡張

3 宇治茶に関する魅力発信

魅力の要素を有機的に融合させ一体環境の中で展開し、体験の質と満足感を向上させます

キーワードチャート  
宇治茶体験をいろいろ/歴史と文化/暮らしの中で広げる楽しみ/整備エリアを全体活用/展示&コンテンツ/観光・周遊ガイドシステム/地域施設/交流シーンの創出/地域全体

多様な観光客

宇治市 市民 地域事業者

協働の環(リンケージ)をつくりだす!

新たなおもてなし!

協働的コミットメント

公園・太閤堤跡・修善茶園  
交流施設(ミュージアム/体験室/観光案内/レストラン・ショップ)

茶園/宇治茶生産地

まち歩き・周遊

地域産業  
経済振興に貢献!

多様な魅力の発信と周遊のしかけを展開!

宇治市の都市ブランド  
都市格の向上に寄与!

市民が自分の住む土地を心から愛し、観光客が何度でも訪れたいくなるまちへ

【宇治の新たな歴史を担うプラットフォーム概念図】

施設コンセプト

まち・ひと・歴史・文化をつなぐプラットフォームとして、新たな「おもてなし」と「にぎわい」を創出します。

1 にぎわいを創出するプラットフォーム

計画施設は、以下の3つの拠点として、宇治のさらなる地域活性に寄与します。まちとひと、歴史・文化をつなぎ、賑わいを発信するプラットフォームとしての在り方を提案します。

①太閤堤の保存・活用による「歴史文化保存拠点」

・歴史上重要な太閤堤を、宇治のその他の歴史文化財との関係性に配慮しながら活用していきます。

②観光客、市民をもてなす「賑わい観光交流拠点」

・まちやひととの協働により、宇治の歴史・文化へいざなう新たな観光周遊ルートを創出します。

・観光客だけでなく、市民がいつでも気軽に立ち寄ることができる環境を整えた交流拠点とします。

③新たな宇治茶の「魅力情報発信拠点」

・実際の茶園がある恵まれた条件を活かし、情報通信技術(ICT)など最新の展示、体験プログラムによる宇治茶の新たな情報発信拠点とします。

2 まちや歴史公園に新たなにぎわいを生み出す工夫

①まちの新たなランドマーク

歴史軸やみどりの連続性など、まちとのつながりについて考え、宇治の新たなランドマークをつくり出します。

まちとのつながりをつくる

②誰もが入りやすい施設

内外の様子が互いに見え、誰でも自由に立ち寄ることができる動線をつくり、賑わいを創出します。

外からも中からもにぎわいが見える

③周辺との調和を図る

太閤堤跡や茶園、御墓とのみどりの連続性を考えます。周辺との景観の調和を図ります。

みどりのつながりをつくる

④史跡ゾーンと一体的に計画

史跡ゾーンの設計内容を十分に理解し、交流ゾーンと史跡ゾーンの連携や一体感を生み出します。

一体的な施設計画

【にぎわいを生み出す4つの工夫】

(2) 伝統文化・伝統行事の継承と振興を図る(第3章-12 基本方針)

本市には茶の栽培、加工において独特の伝統文化があり、これまでも茶業の継続、品質向上のため、新規茶園への支援や品評会の開催支援などの取組が行われている。今後もこれらの取組を推奨し、宇治茶発祥の地としての歴史と伝統文化の継承を図りつつ、宇治茶ブランドの向上に努めることで、茶業の振興を図る。特に本質の技術については、文化財的な価値を調査・検証し、継承を図る。

~~また地域に根ざした伝統行事は、地域コミュニティを維持する重要な役割を果たしており、住民の関心と意識を高めるよう周知を図るとともに、市民主体での学習や取組を推奨し、担い手育成に努める。特に大幣神事と白山神社の祭礼については、文化財的な価値を調査・検証し、その他の伝統行事についても記録作成等を検討し、保存活動に努める。~~

(5) 歴史のまちにふさわしい観光振興を図る(第3章-13 基本方針)

本市の歴史的風致の維持向上には来訪者の賑わいは不可欠であり、今後も宇治に人が訪れ続けるよう、歴史・文化遺産を活かした新たな観光振興策を検討し、かつての旅人が様々な資源を散策したように、まち全体を楽しむ参加体験型の観光振興を図る。

近年の観光客の多様なニーズに対応しかつ円滑なおもてなしが図れるように、関係団体・大学・企業・市民等と連携しながら、案内・見学方法の充実、茶どころらしい参加体験型の企画開発、特色ある土産物・特産品開発など、多様な施策を検討し取り組むものとする。

このほか、まち全体の観光振興を促すために、新たな周遊ルートや自転車での周遊の検討や観光施設周辺の浸水対策を実施するとともに、歩行者優先の観光振興として、歩道整備と併せて分かりやすい観光サインの再整備を図る。また観光シーズンの渋滞緩和や一極集中する駐車場不足の対応のため、観光駐車場対策の検討と併せて、公共交通の利用促進に取り組むものとする。

登録受付番号 ( Nグループ )

敷地南側上空からの鳥瞰イメージ

敷地西側よりアイレベルイメージ

エントランスホールイメージ

ガイダンスゾーンイメージ

・宇治の歴史・文化を情報発信する拠点施設  
⇒南西方向に雁行型の施設とし、そこをガラス張りにすることで、宇治の歴史・文化を中心市街地の方向に向けて情報発信する施設コンセプトをイメージ

(2) 伝統文化・伝統行事の継承と振興を図る(第3章-12 基本方針)

本市には茶の栽培、加工において独特の伝統文化があり、これまでも茶業の継続、品質向上のため、新規茶園への支援や品評会の開催支援などの取組が行われている。今後もこれらの取組を推奨し、宇治茶発祥の地としての歴史と伝統文化の継承を図りつつ、宇治茶ブランドの向上に努めることで、茶業の振興を図る。特に本質の技術については、文化財的な価値を調査・検証し、継承を図る。

また地域に根ざした伝統行事は、地域コミュニティを維持する重要な役割を果たしており、住民の関心と意識を高めるよう周知を図るとともに、市民主体での学習や取組を推奨し、担い手育成に努める。特に大幣神事と白山神社の祭礼については、文化財的な価値を調査・検証し、その他の伝統行事についても記録作成等を検討し、保存活動に努める。

・重層する宇治の歴史をイメージした大屋根  
⇒重層的な歴史(大屋根)の下で来訪者に宇治の歴史・文化を体験してもらうという施設コンセプト



「宇治茶と宇治の歴史」を多様な角度から紹介するとともに、ただ見るだけでなく体験要素やICT を組み込み、周遊観光と密接に連携した展示とします



①無料ゾーン（エントランスホール）

1 周遊ガイドンス

- 無料ゾーンで宇治のまちの周遊情報を提供。人的対応に加えて、ICT の活用で、周遊先でも情報を確認できます。

2 宇治茶ギャラリー

- 宇治茶に関する魅力を紹介するコーナーを設け、ミュージアムへの期待感を醸成します。

②宇治茶と宇治の歴史ゾーン

3 ガイドンス プロローグ映像

- 宇治茶と宇治の歴史ゾーンの概要を映像で紹介し、期待感を盛り上げます。

4 歴史展示 宇治茶と宇治の歴史絵巻

- 宇治茶と宇治の歴史を実物資料とビジュアル、体験展示で楽しく紹介。周遊ポイントは ICT でも紹介します。



【宇治茶と宇治の歴史絵巻イメージ】

5 プロジェクションマッピング 太閤堤ものがたり

- 宇治に大きな転換をもたらした太閤堤を映像で紹介。築堤前と後の変化等を演出し、今に繋がる秀吉の革新事業の役割と意義を、躍動感を持って伝えます。



【太閤堤ものがたりイメージ】

6 大型映像 VR 宇治名所図

- 宇治名所図を動く古絵図として映像化し、宇治のまちを紹介。また宇治のまちを VR（仮想現実）映像化し、時空を超えた宇治の魅力を体験します。VR 映像は主要観光スポットで AR（拡張現実）として展開し、展示から周遊へとつなげます。



【VR 宇治名所図イメージ】



【宇治茶 LIFE ゾーンイメージ】

③宇治茶 LIFE ゾーン

7 宇治茶の楽しみ方 暮らしと宇治茶

- お茶の淹れ方や作法、宇治茶の製法など、宇治茶の生活文化を体験型の展示などで興味深く展開します。

登録受付番号（ Nグループ ）

8 宇治茶の雑学 宇治茶トリビア

- お茶が薬であったことなど歴史秘話から、お茶にまつわる言葉、極上茶は雀の舌と呼ばれることなどのエピソードや雑学まで楽しく紹介します。

9 宇治茶のサイエンス お茶の科学

- お茶の木の種類や系統、ティーベルト、お茶の栄養素、お茶と健康など、科学的視点から宇治茶を紹介します。

10 企画展示

- いつ来ても違った情報がえられる、展示更新が容易なスペース。温湿度管理が可能なエアタイトケースを配置し、貴重な資料も展示できます。

企画展例

宇治茶人物列伝：明恵や千利休、永谷宗円など宇治茶と関わりのある歴史的人物を深掘りする企画展。

宇治橋物語：最古の橋、合戦の舞台、橋姫伝説などの物語中の宇治橋など、多彩な魅力を紹介。



【宇治茶 LIFE ゾーンイメージ】

宇治茶の世界へ誘うプログラムと関係団体との連携による宇治茶の魅力発信・普及を創出します。

①宇治茶の世界へ誘う茶体験プログラム

| 区分   | 体験プログラム          | 頻度     |
|------|------------------|--------|
| 機会創出 | 宇治茶 なりきり茶摘み・製茶体験 | 260回/年 |
|      | 美味しいお茶の淹れ方体験     | 192回/年 |
|      | 抹茶アート体験          | 130回/年 |
|      | 石臼 抹茶づくり         | 260回/年 |
|      | ほうじ茶づくり          | 130回/年 |
|      | 抹茶料理づくり          | 24回/年  |
|      | 抹茶スイーツづくり        | 130回/年 |
| 周遊効果 | 宇治茶ボランティアガイドツアー  | 260回/年 |
|      | オリジナル茶筒づくり       | 130回/年 |
| 交流創出 | 給茶スポット           | 毎日     |
|      | 宇治茶体験イベント        | 1回/年   |
|      | 宇治茶市民交流イベント      | 1回/年   |

※頻度は予約受付枠数（交流創出・毎日行うものは予約不要）

②宇治茶の魅力発信する様々なイベントの開催

■宇治茶体験イベント（案）

| 宇治茶体験イベント | 概要                 |
|-----------|--------------------|
| 宇治マレシェ    | お茶を中心とした地元特産品の販売会  |
| 京菓子づくり    | 市内企業の職人指導による和菓子づくり |
| 野点大茶会     | 「野点の庭」などで野点体験      |
| お茶の活用講座   | 飲む以外の生活に役立つお茶の活用講座 |
| 茶の苗木の配布   | 来館者に先着で茶の苗木をプレゼント  |

■市民交流体験イベント（案）

| 市民交流イベント | 概要                                       |
|----------|------------------------------------------|
| 婚活イベント   | お茶会を開き親睦を深める婚活イベント                       |
| 宇治茶検定    | 茶に関する問題を出題、プレゼントを贈呈                      |
| ふれあい茶会   | 各世代の講師が子どもへ作法を教授し交流                      |
| 世界の茶試飲   | 市内在住外国人を招き世界と日本のお茶の飲み比べ体験を開催、海外文化の理解を深める |



【美味しいお茶の淹れ方体験イメージ】



【抹茶アート体験イメージ】



【オリジナル茶筒イメージ】

③体験をより鮮明なものとするミュージアムの展示との連携

- 宇治茶なりきり茶摘み体験などのプログラムに、ミュージアムの観覧をプログラム内容に含み、体験の内容をより濃密なものとする。
- 宇治茶ボランティアガイドにおいて、現地案内の際、ミュージアム内の AR を活用し、ガイド内容をより直観的なものとします。

（1）宇治の歴史・文化を分かりやすく情報発信する（第3章－12 基本方針）

宇治市教育委員会による宇治の歴史に関する図書の発刊や、茶業界などによる宇治茶文化の啓発として参加体験型の「市民茶香服」や「市民茶摘みのつどい」、「宇治茶スタンプラリー」の開催など、歴史や文化を伝える個々の取組は、今後も継続・充実を図る。

更に歴史の重層性や継承される伝統文化を、総合的に広く分かりやすく情報発信する必要があり、近年の調査結果を反映し内容充実を図る。特に、宇治茶の歴史や文化、元来の価値を伝えることで、宇治茶に対する市民意識の向上に努める。

情報発信の機会や場所の提供に関しては、史跡宇治川太閤堤跡を活かした公園整備に併せて、本市の多彩な歴史と現在に継承される様々な文化を発信する施設整備を検討し、市民と来訪者がともに利用しやすく楽しめる環境づくりを行う。

（5）歴史のまちにふさわしい観光振興を図る（第3章－13 基本方針）

本市の歴史的風致の維持向上には来訪者の賑わいは不可欠であり、今後も宇治に人が訪れ続けるよう、歴史・文化遺産を活かした新たな観光振興策を検討し、かつての旅人が様々な資源を散策したように、まち全体を楽しむ参加体験型の観光振興を図る。

近年の観光客の多様なニーズに対応しかつ円滑なおもてなしが図れるように、関係団体・大学・企業・市民等と連携しながら、案内・見学方法の充実、茶どころらしい参加体験型の企画開発、特色ある土産物・特産品開発など、多様な施策を検討し取り組むものとする。

このほか、まち全体の観光振興を促すために、新たな周遊ルートや自転車での周遊の検討や観光施設周辺の浸水対策を実施するとともに、歩行者優先の観光振興として、歩道整備と併せて分かりやすい観光サインの再整備を図る。また観光シーズンの渋滞緩和や一極集中する駐車場不足の対応のため、観光駐車場対策の検討と併せて、公共交通の利用促進に取り組むものとする。